

『さっきゃま魂』

R5. 1.12 第14号

発行人：校長 中山 未永

清々しい朝 ～最高のスタートです！～

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い致します。



1月10日、17日間の楽しい冬休みを過ごした子ども達が元気に登校してきました。

一番に登校した子どもと廊下で会いましたが、きちんと立ち止まり、丁寧に「明けましておめでとうございます」と新年の挨拶をしてくれました。とても心のこもった言葉を聞いて、「今年も頑張らなければ・・・」という思いがこみ上げてきました。

始業式開始2分前、体育館の玄関に入ると、式を待つ子どもの姿が見えてきました。整然と並び、シーンと静まりかえった会場の雰囲気からも、子ども達の新しいスタートを迎える心構えが伝わり、嬉しい気持ちで式を迎えることができました。

式の中で強く感じたことは、やはり「話を聞く態度の素晴らしさ」です。久しぶりの登校で集中力が続かないのでは・・・とと思っていましたが、最後まで、きちんと話し手を見て、しっかり反応しながら真剣に聞くことができました。

次に、「児童代表のことは」を担当した代表の子ども達の堂々とした態度です。まずは、名前を呼ばれたときの「はいっ！」という爽やかな返事。その声からも子どもの「やる気」が伝わってきました。また、発表内容も、自分ぴったりの目標を掲げ、3学期にかける強い思いを感じることができました。

最後に、「心がこもった校歌斉唱」です。校歌を聞きながら前の方に移動すると、のびのびと歌う子どもの姿を見ることができました。なかには、体を軽く左右に動かしながら、気持ちよさそうに歌っている子どももいました。温かい歌声と一緒に、「校歌」を大切に思う子ども達の心も伝わってくるようでした。



さて、始業式では、次のような話をしました。まずは、「強い心をもつ」ということ。「嫌だけど、最後まで頑張った。」という子どもの言葉を聞いて大変嬉しかったことを話し、嫌なこと・苦手なことから逃げず、最後まで頑張ることのできる子どもになってほしいと伝えました。それと合わせて「無理だと思ったら、先生や家族、友達を頼ることも大切」ということも話しました。すべてを自分一人だけで頑張るのではなく、苦しいとき・辛いときには、みんなで助け合い・励まし合いながら前向きに頑張してほしいと思います。

次に、3つの願いをしました。一つ目は「にこにこ挨拶のレベルアップ」挨拶をした人もされた人も良い気持ちになるように、「話しかけるような挨拶」にしたいということ。

二つ目は、「ありがとう・ごめんなさいの言葉」この言葉を「すぐに・自分から」遣うことによって、もっともっと仲良く楽しい学校にしたいということ。

三つ目は、「もくもく掃除のレベルアップ」なんとなく掃除をするのではなく、「汚れたところを見つけて掃除」をすることで、きれいな学校にしたいということ。

今の自分・学校に満足することなく、「もっと良くしていくためにどうしたらいいのか。」ということを常に意識しながら行動することで、より多くのものを身に付けることができる3学期にできたらと考えています。